

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成
 20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名	押し花しおりづくり教室実施事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名	高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	福田 有里子
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供	所属班	図書館班	(内線)	2511
				法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	10
	1	10	5	8	10804			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】
 読書週間にともない、講師を呼んで押し花しおりづくりをする。作製したしおりは読書週間に図書館利用者へ配布。
【業務の流れ】
 押し花づくりの講師を依頼し、市民にしおりづくりの周知をする。参加者を募集し、読書週間前に押し花しおりづくりをする。作製したしおりは参加者および読書週間に図書館を利用した利用者へ配布する。
【主な予算費目】報酬、需用費(消耗品費)

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・講師を呼び、参加者を市民から募集し、押し花しおりづくり教室を開催した。 ・作製したしおりは読書週間期間中、毎日、市立図書館(分館を含む)にて貸出者へ配布した。(枚数制限あり)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・講座前から配布するしおりづくりを開始し、図書館まつりの準備中にしおりの作製時期が重ならないようにする。 ・その他は20年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・合志市民 ・しおりの配布対象は図書館利用者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → しおり作り参加者数 人 → しおり配布枚数 枚
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・本に親しむきっかけをつくり、図書館を利用してもらう	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → 読書週間中の合志市立図書館利用者数 人 → しおり配布枚数 枚
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・学習・スポーツに参加する機会がある	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → しおり作り参加者数 人 → しおり配布枚数 枚 ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → 学習に親しむ機会があると思う市民の割合 % → スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		5	13	13	14	14	
	(A) 事業費計	千円		0	5	13	13	14	14	
		うち指定経費	千円							
		うち時間外、特殊勤務手当	千円							
		人件費	人		3	3	2	2	2	
	正規職員従事人数	人		3	3	2	2	2		
	延べ業務時間	時間		7	7	7	7	7		
	(B)人件費計	千円		28	28	28	28	28		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	33	41	42	42		

活動指標	人 枚		10 500	15 700	33 600	30 700	30 700	30 700	目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	人		4523	4702	5142	4700	4700	4700	
成果指標	人 枚		10 500	15 700	33 600	30 700	30 700	30 700	
上位成果指標	%		45.1 42.6	50.8 46.5	45.5 44.3	47.3 43.6	45.8 43.6	46 44	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 ・読書週間のイベントとして平成18年度より開始
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・事業開始当初は大人のみの参加募集でしたが、平成19年度からは小学4年生以上で募集をした。また、昨年は当日来館者へも参加案内をしたため、参加者がとても多かった。
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・図書館職員から講座後、不足分のしおり作製を職員がしていたが、作業が図書館まつりの準備期間と重なるため、講座開始前から早めに作製にとりかかっておくという意見があった。押し花は講師の先生が用意してくださるため、その場合は押し花以外のしおりとなる。

事務事業名	押し花しおりづくり教室実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・意図の読書および図書館に対する意識を高めることにより、結果の図書館来館者数の増加に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・法により地方行政は文字・活字文化に係る公開講座の開設その他の地域における文字・活字文化の振興に貢献する活動を促進するため、必要な施策を講ずるよう努めるものとするとの「文字・活字文化振興法」に基づいた事業であるため、行政が行うのは妥当と思われる
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・しおりの作製枚数を増やせば、もっと多くの利用者にPRできるが予算(消耗品費)と手間がかかる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・読書週間に読書に対する意識を高めるための事業として、廃止する場合は他の案を考えるべきである。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・読書週間の行事としては他にないため、連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・押し花の材料・道具などは全て講師の先生に用意してもらっている。最低限の費用で行っているため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・周知のためのポスター製作や講師の手配等以外は、当日まで手間はとらない。業務時間の削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	5	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)